

# HOTでスマイル

## より快適な HOT ライフのための広報誌

第42号

### 2020年は挑戦の年

私たちの使命は、患者様が酸素を安全に、安定的に吸入していただける環境を整えることです。

それだけでなく、在宅で医療機器を使わなければならぬ不自由さを少しでも快適にすることができないかと私たちは常に考えています。

また、患者様の立場で考えたとき、機器をお使いいただく上での心配事や不具合はその日のうちに解決して欲しいと思います。そういう患者様のお気持ちに寄り添った行動ができるようになりたいと思っています。

主治医の先生に対しては、迅速・柔軟・的確な対応に加え、患者さんのご使用状況の報告や、新製品、最新の学会の情報等をお届けして、日々の診療のお役に立ちたいと願っています。

こうした在宅酸素業者の「あるべき姿」を、昨年2月から社員で何度も集まって話し合いました。そこで作られたのが、“在宅医療に、より快適さを。”というコンセプトです。（前々号の本誌で社長の堀口からもご紹介しました。）同時に8つの項目からなる“行動規範”を策定し、毎日の朝礼で唱和しています。こうすることで日頃お伺いしている社員が同じ姿勢で皆様と相対できるのではないかと考えています。

快適さ、とは安全・安定供給が前提にあって、その上に位置するものと捉えています。2ページ下段に快適グッズのご紹介をしていますが、商品ラインアップはもちろん、サービスの面でも快適をお届けしたいというのが私たちの願いです。

今回はこれを期に、ロゴマークを変更し、マークの色も若干変わりました。本誌も40号からこのコンセプトに基づきデザインされています。他にも作業着、名札、各種印刷物や車両の塗装も順次切り替わる予定になっています。

今年は私たちがこのコンセプトにどう近づけるか？挑戦の年になります。どうぞ新しいマルホンにご期待いただくと共に、お気づきの点があれば、遠慮なくお申し付けいただき、皆様に育てていただけたら幸いです。



**株式会社マルホン**  
医療事業部 在宅医療部  
在宅医療に、より快適さ。

ロゴマークはこれまでのH(旧社名の堀口商店の頭文字)からM(マルホン)をイメージした形に変更しました。ロゴの下にコンセプトがありますが、右が尖っています。これは前進を意味しています。

より多くの空気を取り入れ、吐き出すことがスムーズにできるようになる運動をご紹介します。この運動は胸郭の動きを良くしたり、横隔膜の働きを促す効果があります。

## 胸郭を広げるトレーニング

- ①椅子に座る
- ②胸骨(胸の真ん中の骨)の中心に手を添える
- ③添えた手の奥の、胸と背中の間に空気を入れる  
イメージで鼻から吸って胸郭を広げる
- ④胸は膨らませたまま鼻から息を吐く
- ⑤ ③と④を繰り返す



肩がすくまないよう注意

胸郭を前後左右に膨らませるイメージで

## 横隔膜を働かせるためのトレーニング

- ①椅子に座る
- ②へそから指4本分下に手を添える
- ③添えた手の奥の、お腹と腰の間に空気を入れる  
イメージで鼻から吸って下腹を膨らませる
- ④お腹は膨らませたまま鼻から息を吐く
- ⑤ ③と④を繰り返す



お腹を前後左右に膨らませるイメージで

## HOTの 快適グッズ

## 液体酸素システム「ヘリオス」

液体酸素システムは、酸素濃縮器と異なり電気を使用しないため電気代が不要で停電時も安心です。また携帯用は親機から充填して持ち運べるので、農作業やグランドゴルフなど活動的な方にお勧めです。

大きさは片手にのってしまうほどの小ささ、フル充填時でも1.6kgの軽さです。

付属の携帯用バックで、ウエストポーチ、ショルダー、もしくはリュックスタイルで携帯できますので、手がふさがることはありません。



親器  
(玄関先などに置きます)

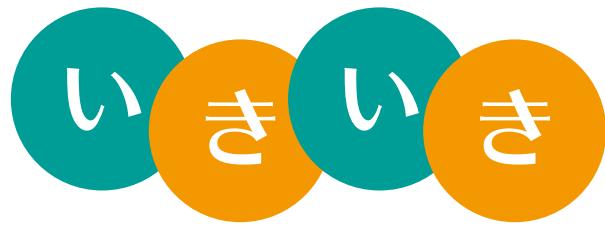


子器  
(携帯容器)



ショルダー・ウエストポーチ・リュックとして使えます。  
両手が空くので活動が広がります

ご使用される際は主治医の先生の指示が必要となります。ご興味を持たれた方がいらっしゃいましたら主治医の先生にご相談してみてはいかがでしょうか。



# HOTさん



群馬県桐生市  
大樂 幸男さん  
(HOT歴5年)

## 素敵な切り絵を作り続けて

今回は週に1度、ボンベの交換や機械の点検で訪問している桐生市にお住いの大樂幸男様にインタビューをさせていただきました。1943（昭和18）年7月に千葉県でお生まれになった大樂さんは、30歳前後にお仕事の関係で、群馬県桐生市に住むことになりました。それから現在まで40年以上群馬にお住まいです。

在宅酸素を使用するきっかけは、2014年の秋ごろに肺炎で入院することとなり、院内で酸素を使用し、退院するにあたって、ご自宅でも酸素が必要ということです。2015年1月より使用を開始されました。当初は酸素ボンベを持たないで出かけてしまったり、酸素を使用しなくとも苦しさを感じなかつたりと、酸素使用に関して積極的ではなかったようでしたが、現在は入所している施設のお部屋では酸素の器械をお出かけや入浴の際も携帯用ボンベをご使用しているとのことでした。



大樂さんのお部屋に訪問するたびに気になっていたものが1つあり、今回はその件についてお伺いしました。それがお部屋に飾られている大樂さん作の切り絵です。3年ほど前に、ご友人から桐生市内の公民館で行われている切り絵の活動に誘われたことをきっかけに始めたとのことです。始めて3年とは思えない素敵なお部屋に飾られた切り絵で、お話を聞いている際にも思わず見とれてしまいました。

最近はあまり切り絵を作ってはいないとのことでしたが、新しい作品ができたら是非見せて頂きたいと思いました。

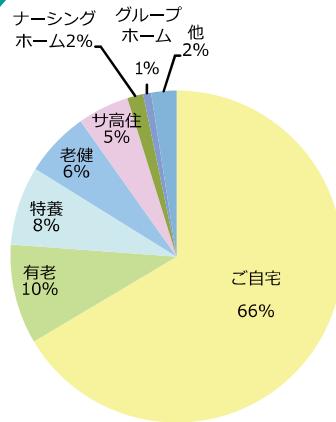
今回お話を聞かせて頂きたいとご依頼をした際に、快く引き受けて頂いた大樂さんに、今後も快適な療養生活を送っていただけるよう、精一杯お手伝いさせていただきたいと思っております。

ご協力いただきありがとうございました。

# HOTのホント!?

HOT 患者様のお住まいの種類を集計しました。

酸素供給装置の設置場所は、全体の 3 分の 2 がご自宅で、以下有料老人ホームが 10%、特別養護老人ホーム 8%、介護老人保健施設 6%、サービス付き高齢者向け住宅が 5% と続きます。介護保険導入後、さまざまな高齢者様向けの施設ができていて、結構な割合でこれら施設への設置があると感じていましたが、実はまだまだご自宅で療養されている患者様が多かったです。私たちは皆様がどこで生活されていても同じ安心をお届けできるよう心がけています。



HOT 患者様のお住まい  
(H31.4 マルホン調べ)

## HOT な社員紹介

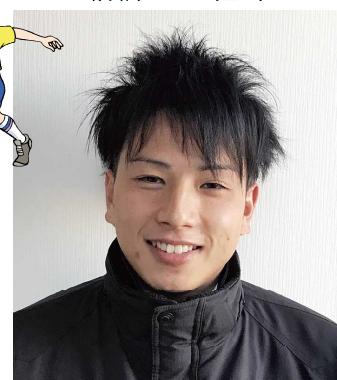
皆さんこんにちは。藤田敦也と申します。

去年の4月に新卒で入社しました。

主に前橋エリアの液体酸素の配送を行っております。

趣味は小学校1年から大学4年まで続けていたサッカー

と、夏はジェットスキー、冬はスノーボード等、体を動かすことです。スポーツは得意な方なので体力には自信があります！まだまだ半人前で皆さんにはご迷惑をかけてしまうこともあるとは思いますが、一日も早く仕事を覚え、一人前になれるよう日々努力してまいりますのでよろしくお願い致します。



## 知って 得する！ クイズコーナー

Q1 HOT でスマイルの「HOT」とは何のことでしょうか？

- ①在宅人工呼吸療法
- ②持続陽圧呼吸療法
- ③在宅酸素療法

Q2 酸素ガスは次のうちどれに当てはまるでしょうか？

- ①可燃性ガス
- ②支燃性ガス
- ③不燃性ガス

クイズのこたえ

Q1 ③ 在宅酸素療法は日本では Home Oxygen Therapy(略して HOT)と言われます。海外では LTOT (Long Term Oxygen Therapy)と略されています。

Q2 ②酸素には燃えている物があると、その燃焼を助ける性質があります。冬のこの時期は特に火気を近づけないようご注意ください。

## 編 集 後 記

●今年も変わらずに皆様へ快適をお届けできるように頑張っていきたいと思います。いきいき HOT さんコーナーでは大変様にご協力いただきました。ありがとうございました。(かわうち)

●昨年スポーツジムに入会しましたが、まだ一度も行ってません。今年の目標はジムに行って、昔の体形に戻すことです。(あさい)

●来月はニヨロニヨロに会いに埼玉にあるムーミン谷に行ってきます★仕事も遊びも全力で楽しめる年にしたいと思います。まだまだ寒いので風邪を引かないように気を付けて下さい！(ゆか)